

入手・閲覧できる地盤の資料

	どんなものがある？	どうやって探す？どこにある？	備考
地図	ロードマップ（縮尺1/10,000など）	どこの書店でも置いてある、普通の地図	敷地周辺の地形や地名などを確認する
	地形図 （地形、その他に道路、鉄道、建物など土地利用を整備したもの）	国土地理院ホームページ内 https://maps.gsi.go.jp/	オンラインは閲覧のみ
	古地図 （地歴がわかる。江戸・明治など比較的最近のものがよい）	各自治体	—
		Google Earth http://earth.google.co.jp/ 「江戸明治東京重ね地図」 http://www.app-beya.com/work/layermap/edomeijitokyo	主要な土地に限られるが、現代の地図に古地図のレイヤーを重ねて表示できる CD-ROM付きの書籍。現代と江戸・明治時代の地図が重ねられていて、違いがすぐに分かる
地形分類図	土地条件図 （洪水などの災害の履歴を反映する地形分類、土地の高さを表現した地盤高線、防災関連施設を整備したもの）	国土地理院ホームページ内 https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/lc_index.html	地盤が良好な高台の丘陵地や台地、地盤が軟弱な谷底平野や後背湿地、扇状地、砂丘などが色と記号によって分類されている
	沿岸地域土地条件図 （沿岸海域の地形・地質・利用現況など）	国土地理院ホームページ内 https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/engan14.html	—
	都市圏活断層図 （国土地理院が1995年の阪神・阪神淡路大震災をきっかけに作成）	国土地理院ホームページ内 https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/active_fault.html	活断層の所在を示す地図であるが、高台と低地を分類着色してあるので地形分類図としても使用できる
地質分類図	地質図 （表土の下の地層がどのように分布しているか示した図）	（独）産業技術総合研究所ホームページ内、地質調査センター「地質図カタログ」 https://www.gsj.jp/Map/	ダウンロード購入も可能
	土地分類基本調査図 （土地開発のためにつくられた地盤図、表層地質図など）	国土交通省土地・水資源局 https://nlftp.mlit.go.jp/kokio/inspect/inspect.html	GIS（地理情報システム）データをダウンロード可能
	地盤図（地盤断面図・地質柱状図） （地盤図に柱状図や地盤断面図が収録されたものがある）	地域によって自治体、建築士会、学会支部などで発行している （例：「東京総合地盤図」（東京都）、「大阪地盤図」（地盤工学会関西支部）など）	地域の地質に関する解説や地質断面図が掲載されているので「地盤図」と呼ばれるが、実質はボーリング柱状図とその位置を示した地図がセットになった書籍のこと。地域の図書館に収蔵されていることが多いが、国土地理院・国土地盤情報検索サイト「Kunujiban」で検索可能
写真	航空写真（過去）	（独）産業技術総合研究所ホームページ内、地質調査センター「地質図カタログ」	全国各地の各ポイントにて様々な時期に撮影された航空写真で、オンライン購入も可能
	航空写真（現在）	Google Map http://maps.google.co.jp/	地盤情報や地図・航空写真などを閲覧できるサイトもある G-Space Iデータサービス(月額4,000円) http://www.asahigs.co.jp
その他	地名辞典（地名から地歴がわかる）	書店で販売している	—
	ハザードマップ（液状化の危険区域、地盤沈下、急傾斜地崩壊危険区域、地すべり防止区域）	各自治体	柱状図などもある。国土交通省「ハザードマップポータルサイト」にて地区町村単位で検索できる